つながる検索エンジンの開発
ー　コミュニケーションサービスと検索サービスの融合　ー

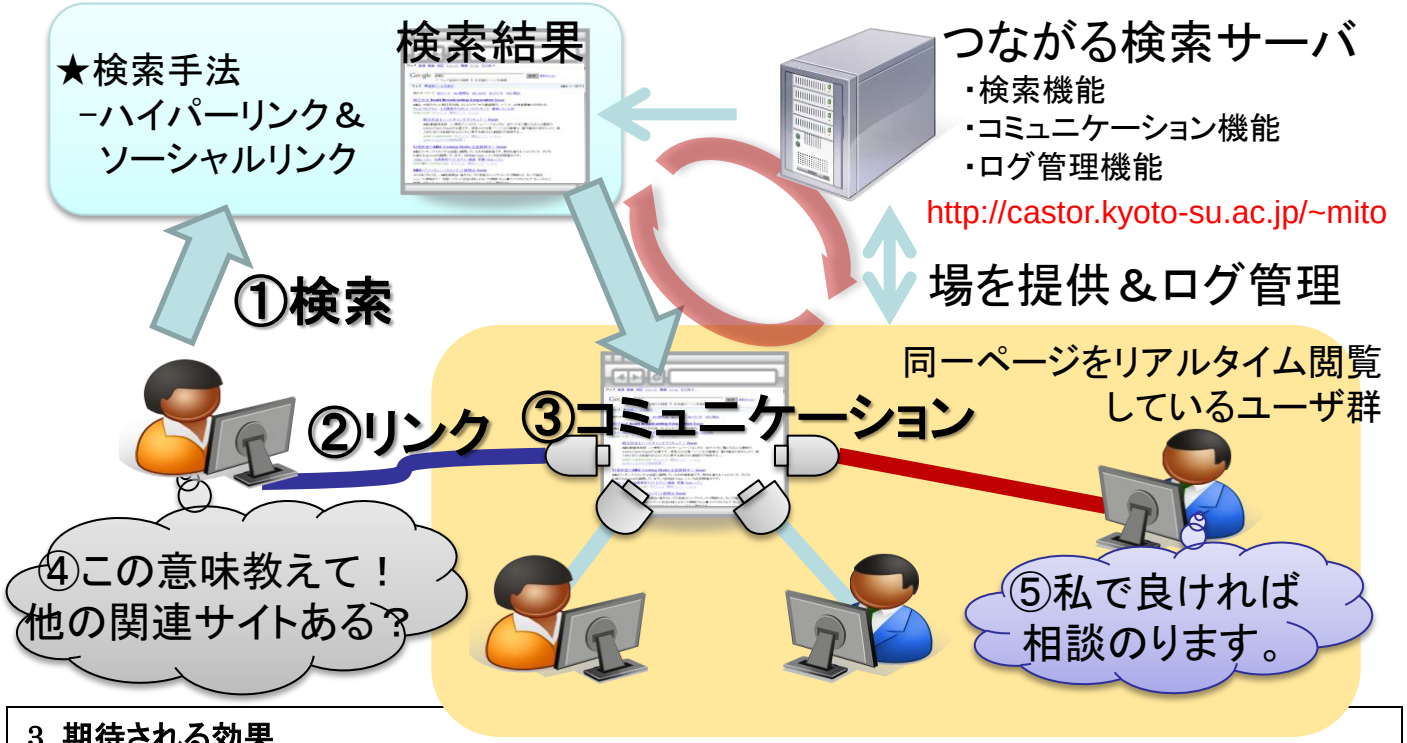
河合由起子、松井優也

1. 研究目的

Webページをライブで閲覧しているユーザを管理し、閲覧ユーザの量と質に基づいたランキングを実現することで、「瞬時に欲しい情報」と「検索時に同じ興味を持つユーザからの支援」を同時に獲得できる「つながる検索エンジン」の開発を目指す。

2. 研究開発概要

本研究開発では、ハイパーリンク構造だけでなく、各Webページを閲覧しているユーザに着目し、アクセスしているユーザの数に基づいたソーシャルリンクを構築し、仮想世界と実世界の情報構造を反映した検索を実現する。また、ユーザがページ内で閲覧している位置を観測することで、検索結果のページ内で最も閲覧箇所の多い部分を注目箇所として抽出する。さらに、ページ内で分からないことがあれば、リアルタイムで閲覧しているユーザに直接相談することも可能となる。



3. 期待される効果

計算機と人の両方から同時に情報を獲得・提供できる本開発により、実空間・Web空間の質の向上といった、人と情報の在り方が変わる可能性がある。また、各ページに対するユーザ評価を分析することができ、例えばバーチャルショッピングやネットオークションなどのインタフェースが劇的に変化する可能性がある。